

祝「佐渡島(さど)の金山」 ユネスコ世界遺産登録決定!



パブリックビューイング登録決定の瞬間（メディアシップ）（写真提供／新潟県庁）

ユネスコの第46回世界遺産委員会が7月27日、インドのニューデリーで開催され、「佐渡島の金山」が世界文化遺産として登録されることが決定しました。

1997（平成9）年に市民団体による世界遺産登録に向けた運動が始まってから27年、「佐渡島の金山」が世界遺産にふさわしい文化遺産であると認められました。

委員会の審議中に、東京・新潟・佐渡の3会場でパブリックビューイングが開催され、多くの関係者や市民の皆さんが審議中継を見守りました。

佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議 共同代表 福田勝之会頭挨拶要旨

新潟県民が長い間待ち望んだ「『佐渡島の金山』世界遺産登録」という悲願がついに成就し、大きな感動を覚えている。平成22（2010）年に暫定一覧表に記載されて以降、平成27（2015）年から4年連続で推薦見送りが続くなど苦しい時期もあったが、諦めずに官民一体となって粘り強く取組を続けたことが今回の吉報に繋がったのだと思う。これを契機に、日本中、世界中から佐渡に人

が集い、たくさんの新たな交流が生まれると思う。世界に誇る「佐渡島の金山」の貴重な資産価値を多くの方々と共有し、また適切に維持・管理して後世に引き継いでいくためにも、引き続き積極的に取組を進めていく。関係各位のこれまでの熱心な取組や県民の皆様の温かい応援に感謝するとともに、今後のさらなるご理解とご協力をお願いしたい。

新潟商工会議所では佐渡島の金山登録決定を祝し、
万代島ビル1階に横断幕を掲示しました。

